

## 最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 7 月 13 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

### ■ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1σラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。目先、終値が+2σラインの上方を推移しており、「走る相場」となっている。

また、引き続き、遅行スパンとローソク足の「同期性」に注目したい場面。すなわち、遅行スパンは、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきており、目先、遅行スパンが反落する展開がシナリオの1つとなる。

尚、遅行スパンの「同期性」とは、ローソク足の上げ下げのリズムと遅行スパンの上げ下げのリズムが正の相関性をもって推移したり、逆の相関性をもって推移することを指す。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、本格上昇トレンド入りするかどうかの瀬戸際（ブル・ベアの分岐点）

○遅行スパン＝陽転してきており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝今後、終値が $+1\sigma$ ラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格上昇トレンド入りする可能性が高まる。

尚、終値が $-1\sigma$ ラインの上方で引けて、調整の反騰局面入りして以降上昇してきた相場が、調整反騰の最終ターゲットである $+2\sigma$ ラインに到達したとも読め、一旦は達成感も生じている。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインと $-2\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。目先、バンド幅が収束傾向となっており、総じて小動きのレンジ相場の地合いにあると読む。尚、引き続き、遅行スパンとローソク足との同期性に注目したい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。一方、終値が同ラインの上方で引けると、調整の反騰局面入りする可能性が高まる点、引き続き、注意しておきたい。

#### ◆スパンモデル

逆行パターンのユーロ買いサインが点灯している点、引き続き、注目したい場面。

#### ■ユーロ円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン＝陽転しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $+1\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。一方、同ラインの下方で引けると、調整の反落局面入りする可能性が高まる。

#### ◆スパンモデル

依然として、買いシグナルの逆行パターンのユーロ売りサインが点灯している点、注目したい。猶予期間の5日が経過しており、猶予期間の最終日の高値 131.53 円を、終値ベースでブレイクするかどうか注視したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

引き続き、逆行パターンのユーロ買いサインが点灯している点、注目したい場面。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン=ローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+3 $\sigma$ ラインと+1 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

尚、今後、終値が+1 $\sigma$ ラインの上方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向となると、本格上昇トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。また、引き続き、遅行スパンとローソク足との同期性に注目したい場面。

◆スパンモデル

赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯継続中である点、そして、すでに、最終ターゲットである+2 $\sigma$ ライン近辺まで上昇した点、注目したい。尚、引き続き、

遅行スパンとローソク足との同期性にも注目したい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面、レンジ相場

○遅行スパン＝陰転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、目先、バンド幅が収束傾向となっており、レンジ相場の地合いを強めているとも読め、 $+2\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断する。

◆スパンモデル

引き続き、赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点に注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格上昇トレンド

○遅行スパン＝ローソクに絡みつつも陽転しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $+1\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。一方、同ラインの下方で引けると、レンジ相場に入る可能性が高まる。

◆スパンモデル

買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯している点、注目したい場面。もっとも、目先、終値が+2 $\sigma$ ラインの上方で引けており、上昇方向へ走る相場と見なせることから、売りエントリーには慎重でいたい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試し下さい。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。